

芦別消防団員を募集

芦別消防団では、各地域で活躍する消防団員を募集しています。年齢満18歳以上で、本市に居住されている心身ともに健康なかたであれば性別を問わず入団できます（高等学校在学中のかたは入団できません）。

消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。消火活動はもとより、地震、風水害、行方不明者の捜索等、さまざまな災害に出動し活躍しています。

消防団員の処遇については、年額報酬が支給され、災害活動や訓練に出動した際には出動報酬及び費用弁償が支給されます。その他、公務災害補償、被服の貸与、退職報償金（5年以上勤続）、各種表彰制度等があります。

地域住民の安全・安心のために重要な役割を担っている消防団に興味・関心のあるかたは、芦別消防署までお問い合わせください。

●詳細 芦別消防署庶務係 ☎22-3106



★市長だより★

74



一段と肌寒さを感じる季節となりましたが、市民の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

道の駅スタープラザ芦別敷地内の遊具が設置後30年が経過し、老朽化もあり、この度、大型複合遊具に更新し、9月30日、多くの子ども達や保護者、市民の皆様のご参集のもと、オープニングセレモニーが行われました。

本市では初となる障がいのあるかたや幼児向けの「インクルーシブ遊具」と、滑り台やはしご渡りなどがある「コンビネーション遊具」の2基を設置し、年齢や障がいの有無にかかわらず、子ども達が安心して集い、遊べる遊具からも、多くの皆さんに利用され、交流の拠点となることを期待しております。

芦別130周年・市制施行70周年の記念事業の一環として、芦別ゆかりの絵本作家やしるまりこさんの「お話し会（講演会）」が10月7日、図書館で開催されました。

午前中のご主人やお嬢さんとの「絵本・劇場」では、紙芝居や絵本クイズ等を通じて子ども達が絵本や読書を楽しむ機会を提供いただき、午後には、「芦別っ子の魂、いつまでも」と題して、芦別で過ごされた小学生時代



9月30日、道の駅スタープラザ芦別にて大型複合遊具が完成し、多くの子どもたちや市民の皆様とオープニングセレモニーを開催しました。

の4年間の思い出や絵本の製作などについてのご貴重なお話しと、周年事業に花を添えていただいたことに感謝の気持ちで一杯です。

地方創生塾の活動として、芦別高校生（2年生全員）による、今回で3回目となる1日限定の「高校生カフェ」が、同9日、道の駅内で開催されました。

調理や調査、広報やイベントの各班に分かれながら、腕によりをかけた「たこ焼き」や「クレープ」などを販売・提供され、行列ができるほどの賑わいを見せるなど、日頃の活動やパフォーマンスを盛り上げていただくこの取り組みに、生徒の皆さんはじめご協力をいただいた

だいた芦別高校及び関係者の皆様に改めて、厚くお礼申し上げます。

臨時市議会が同10日に開会され、市独自の原油価格や物価高騰等対策として、全世帯を対象に1世帯当たり、低所得者世帯1万5千円、一般世帯1万円、生活応援商品券の交付（冬季市民生活応援事業）等を盛り込んだ一般会計補正予算案が、慎重審議をいただいた中で、原案どおり可決されましたことから、遺漏のないよう迅速に取り進めてまいります。

冬の交通安全運動が13日から22日までの10日間実施されます。

市交通安全対策本部会議では、この期間を「ストップ・ザ・交通事故」「目指せ・安全で安心な芦別市」をスローガンに、特に、凍結路面でのスリップ事故防止等の活動を推進し、関係団体や市民皆様のご協力のもと、人の波街頭啓発や交通安全指導車による市内巡回啓発、パトライト駐留作戦などを実施することとしております。

日ごと日没が早まり、周囲が見えにくくなってきており、市民の皆様には運転時や歩行時には十分気を付けて事故防止に努めていただくようお願いいたします。（10月23日記）

芦別市長 萩原 貢